

# GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

号 外

(麻しん)

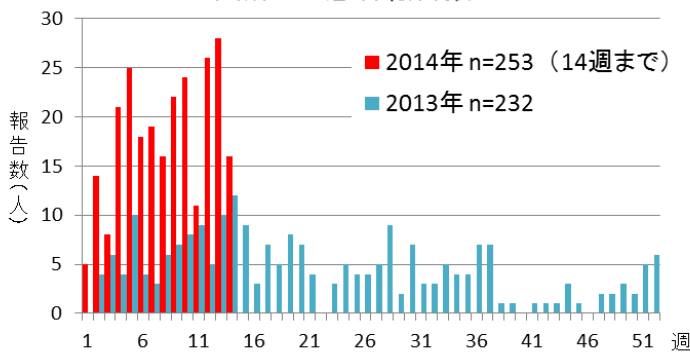
Gifu Infectious Diseases Weekly Report

岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

## ～麻しん患者の報告が増加しています！～

- ◇ 2013 年 12 月から現在にかけて国内で麻しん患者の報告数が増加しています。
- ◇ 増加し始めた 12 月～1 月には海外（特にフィリピン）での感染例が多く報告されていましたが、最近では国内での感染例の割合が増えています。
- ◇ 患者の 8 割は予防接種を受けていない人または予防接種歴が不明の人です。
- ◇ 麻しん定期予防接種の対象者は必ず接種を受けましょう。

### 全国麻しん患者報告数

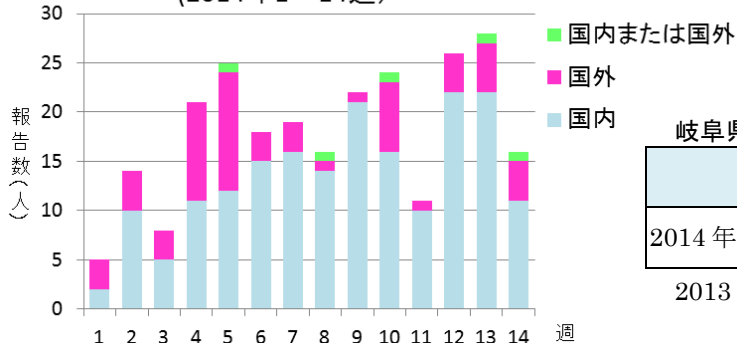


全国の麻しん患者の報告数は、本年第 1 週から第 14 週までに 253 例となり、昨年 1 年間の累積報告数 (232 例) をすでに上回っています。

2 月以降は国内での感染例の割合が増加しており、海外から持ち込まれたウイルスが国内で広がっていると考えられます。

県内では、今年は 15 週までに 2 例報告されています。散発的な発生で、いずれもフィリピン渡航歴がありフィリピンでの感染が疑われています。

### 推定感染地域別麻しん患者報告数 (2014年1～14週)



### 岐阜県における麻しん患者の報告

	診断日	患者	推定感染地域	ウイルスの遺伝子型
2014 年	3 月(10 週)	小学生	フィリピン	B3
	4 月(15 週)	幼児	フィリピン	B3

2013 年は報告なし (0 例)。

麻しんは予防接種で予防が可能な感染症です。定期予防接種では MR ワクチン（麻疹風疹混合ワクチン）を 2 回接種することとなっていますので、対象者は期間の早めに予防接種を受けましょう。

ワクチン接種を受けることで、自分の感染を防ぐだけでなく、周りへの感染拡大を防ぐこともできます。

### 麻しん定期予防接種対象者

【第 1 期】1 歳児

【第 2 期】小学校入学前 1 年間の小児  
(いわゆる年長児)

★予防のために、確実に 2 回接種することが大切です！

### 麻しんとは・・・

麻しんは麻疹ウイルスによる感染症で、感染力が非常に強く、空気感染、飛沫感染、接触感染などにより感染します。約 10 日の潜伏期の後、発熱・咳・鼻水などかぜのような症状が出て、2～3 日熱が続いた後、高熱と発疹が出ます。重い合併症を起こす場合もあります。唯一の予防方法はワクチン接種です。

参考：国立感染症研究所感染症疫学センター <http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>